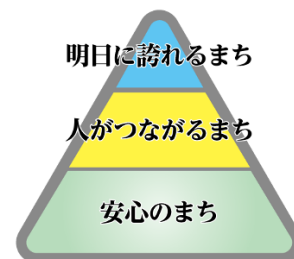


令和元年度運営方針の自己評価

1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

区運営方針に掲げる各経営課題の戦略ごとの具体的取組については、着実に推進できており、目標は概ね達成し、一定の成果を得ることができたと認識している。



元年度運営方針に掲げる、各経営課題のめざすべき将来像・自己評価を要約したものです。

経営課題 1 安全・安心のまちづくり

地域や関係機関等と連携した防災、防犯、環境美化活動の取り組みを進めた。特に防災では、地域主体の防災訓練への支援や防災出前講座などにより、自助・共助の役割意識を高め、医療・福祉など関係機関と連携することで、防災ネットワーク機能の強化に取り組んだ。

めざすべき将来像（10～20 年を念頭に設定）と取り組み

防災のまちづくり

- ・全区民が災害時の備えをし、**避難行動できる状態**

【元年度の主な取組実績】

- ・地域防災リーダー研修
- ・地域主体の防災訓練への支援
- ・区医師会等との連携訓練や意見交換会など

防犯のまちづくり

- ・全区民が防犯を意識し、**街頭犯罪が起きない環境が整っている状態**

【元年度の主な取組実績】

- ・警察等と連携した防犯キャンペーン
- ・特殊詐欺防止啓発
- ・地域及び警察と連携した自転車マナーアップ啓発 など

人に優しいまちづくり

- ・喫煙マナーが守られるなど、人に優しく、誰もが**安全に通行ができる状態**

【元年度の主な取組実績】

- ・路上喫煙禁止地区（京橋地域）での市民協働型の啓発活動
- ・喫煙マナー向上に向けた啓発活動など

自己評価

- ・広報誌を含め様々な媒体やイベントを活用した啓発、また、地域防災訓練の支援などに取り組んだことにより、**区民の防災意識**は高まっており、戦略に対する取組は順調に進んでいる。
- ・街頭犯罪地域や警察と連携した**防犯活動の取組**は、区民の防犯意識の向上に寄与していると考えている。交通マナーの啓発においては、効果的な啓発活動等に取り組んでいく。
- ・ボランティア清掃活動やごみのポイ捨てなどのマナー啓発の取組を推進したことなどにより、**区民の環境美化意識**の向上に寄与していると考えている。京橋地域の路上喫煙禁止地区の啓発においては、更なる制度周知と喫煙マナーの向上に向け、効果的な啓発活動等に取り組んでいく。

令和元年度運営方針の自己評価



経営課題 2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

区民まつり、地域活動協議会の活動支援など、地域のつながりづくりや自律的な地域運営を促進した。

また、地域福祉コーディネーターによる身近な福祉課題への相談・訪問、地域の子育て情報の周知、不登校等の課題解決に向けたスクールソーシャルワーカー（SSW）による相談など、相談体制の強化に取り組んだ。

めざすべき将来像（10～20 年を念頭に設定）と取り組み

コミュニティ豊かなまちづくり

- ・これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、若い世代やマンション住民など、より幅広く人と人がつながり、身近な地域の中で生活課題の解決に取り組むなど、地域コミュニティが活性している状態

【元年度の主な取組実績】

- ・区民まつり
- ・地域活動協議会補助金の交付 9 地域
- ・中間支援組織による活動の支援 など

いきいきと健康にらせる福祉のまちづくり（健康・福祉）

- ・身近なところに福祉の相談窓口があり、気兼ねなく利用できる状態
- ・区民がいきいきと健康で生活することができる状態

【元年度の主な取組実績】

- ・地域福祉コーディネーター活動
- ・福祉の相談受付、地域の見守り活動
- ・要援護者名簿の管理や整備
- ・プレワークキングマザー対象出産直前講座
- ・母乳子育て教室 など

いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり（子育て支援）

- ・母乳・授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態
- ・子育て世代の保護者が、身近なところから支援を受け、子育てを楽しんでいることができる状態

【元年度の主な取組実績】

- ・健診や関係機関訪問時における相談及び子育て支援室の周知
- ・SSW による区内小・中学校への訪問、不登校等の問題対応 など

自己評価

- ・**区民まつり**をはじめ、つながりづくりを目的とした事業には多くの区民等が参加されており、地域とつながる機会となったと感じる参加者の割合は向上した。（前年度比 10 ポイント増）

- ・**地域活動協議会**により自律的な取組が着実に進められているが、担い手の固定化などに伴う属人的要素によって維持されている面もある。

引き続き組織運営のマニュアル化などを促すとともに、地域活動に関わりの薄い住民の参加促進などを通し、自律運営が安定的・継続的なものとなるよう支援していく。

- ・**地域福祉コーディネート事業**については、認知度は向上したが、目標値に到達しなかった（前年度比 10 ポイント増）。

「身近な相談窓口」として、認知度向上のため、広報活動等に努めていく。

- ・**子育て相談体制の充実**について、地域の子育て情報の周知や相談窓口の拡充を積極的に行い、相談件数の目標値は達成できた。

子どもの成長とともに変化する子育てに関する様々な相談に対応するため、継続して取組を進めていく。

- ・**SSW(スクールソーシャルワーカー)による相談支援体制の強化**については、対応ケース数が目標値に到達しなかったが、対応したケースについて、学校と適切に連携し、課題解決に取り組むことができた。今後とも引き続き、学校と連携して不登校等の問題対応に取り組んでいく。

令和元年度運営方針の自己評価



経営課題 3 明日に誇れるまちづくり

区の歴史・文化などの魅力について、インターネット等を活用した動画配信を行うとともに、水辺を活用したスポーツイベント等の民間主体の賑わいづくりに取り組んだ。

未来の都島を担う人材育成として、小学生の放課後学習支援、小・中学生を対象にした異文化と触れ合う交流機会の提供などに取り組んだ。

めざすべき将来像（10～20 年を念頭に設定）と取り組み

魅力あるまちづくり

- ・ まちの魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態

【元年度の主な取組実績】

- ・ ケーブルテレビや YouTube 等を活用した魅力発信
- ・ 城北公園駅高架下アートプロジェクト 2020 への協力
- ・ 桜ノ宮ビーチフェスティバル」への協力
- ・ ビーチバレー大会の共催
- ・ 貴志康一の楽曲を含む中学校吹奏楽・合唱指導 など

未来の都島を担う人材育成

- ・ 経済状況や家庭環境に左右されことなく、全ての子どもの可能性が最大限活かされる状態

【元年度の主な取組実績】

- ・ 2 校において、3～6 年生に算数、国語の補習を放課後に実施
- ・ 中学生対象の Web 交流会等
- ・ 小学生対象の英語体験活動

自己評価

- ・ **区の魅力発信**では、YouTube やケーブルテレビ等での積極的な魅力発信を行ったが、YouTube の再生回数は 30 年度を上回ったが、業績目標には達しなかった（前年度比 0.7%増）。

今後、新規動画の制作等により、更なる区の魅力発信に取り組んでいく。

- ・ **中学校吹奏楽・合唱力向上事業**では、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、発表会の開催など一部事業を中止した。プロによる芸術文化の技術指導を行ったが、基本的な技術指導に留まり、地域にゆかりのある芸術文化に対する興味が深まった参加者割合が業績目標の撤退基準を下回り、作品理解までには至らなかったことから、令和元年度をもって終了する。

- ・ **小学生の放課後学習支援**においては、2 校において補習学習会を行った結果、業績目標は未達成となったものの、「学校の授業がよくわかると回答した参加児童の割合」が増加するなど、事業の成果が表れていると考えられる。

- ・ **グローバル化時代に必要なコミュニケーション能力の育成**においては、異文化と触れ合う交流機会を提供し、参加児童・生徒の積極性を育んだことによって、業績目標を達成。

令和元年度運営方針の自己評価

経営課題 4 区役所力の強化

区政会議や区民アンケート等により多様な区民の意見やニーズを把握し、区民の声が区政に反映される仕組みづくりを進めるとともに、広報誌の全戸配付や SNS などによるタイムリーな情報発信に取り組んだ。

民間事業者による職員の接遇研修をはじめ、庁舎の改修工事、5S（職場環境の維持・改善等）活動などを行い、区役所来庁者の満足度向上に取り組んだ。

めざすべき将来像（10～20 年を念頭に設定）と取り組み

区民の声が区政に反映される仕組みづくり

- ・ 多様な区民の意見やニーズを適切にとらえ、それらを踏まえた説明責任が果たされるよう区政に関する情報が区民全体に着実に届けられている状態
- ・ 施策や事務事業の企画・計画の段階から評価の段階に至る全てのプロセスにおいて区民の参画を得ながら、区の特性や地域実情に即した区政が運営される区民主体の自治が実現している状態

【元年度の主な取組実績】

- ・ 区政会議
- ・ 区民アンケート
- ・ 「区長と話そう！」の実施
- ・ 広報誌の全戸配付 など

区民が満足・納得できる区役所運営

- ・ 区役所が、区民をはじめ来庁者にとって快適で満足できる場所となるとともに、区役所業務の運営について、区民の視点から見て納得していただける状態

【元年度の主な取組実績】

- ・ 職員の接遇研修の実施
- ・ 区庁舎照明の LED 化、庁舎の飾りつけ
- ・ 5S 活動の実施 など

自己評価

- ・ 区政会議、区民アンケート、区長出前講座などを通じて、**多様な区民意見やニーズの把握**に取り組んだ結果、自分の意見を区に伝える方法を知っている区民の割合は目標値を上回った。

- ・ **広報誌の全戸配付、SNS 等の活用**など媒体の特性を活かした情報発信を進めてきたが、区のさまざまな取組に関する情報が、区役所から届いていると感じる区民の割合は目標値に達しなかった。

若年層ほど肯定的意見が低い傾向にあるため、引き続き、若年層に向けた情報発信の強化に取り組んでいく。

- ・ 民間事業者を講師に迎え、ユニバーサル・サービスの観点を取り入れた接遇研修を実施し、「**来庁者等に対する窓口サービス**」の格付け結果は☆2 つ(民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル)を獲得し、目標を達成した。

解決すべき課題と今後の改善方向

「市政改革プラン 2.0 区政編」の改革の柱である「地域社会における住民自治の拡充」について、地域活動協議会の認知度向上や、担い手不足の解消など、解決すべき課題があると認識している。今後、「市政改革プラン 3.0」に沿って、地域活動協議会による自律的な地域運営の実現に向けて、地域に関わりの薄い住民参加の促進をはじめ、地域の実情に即した活動支援に取り組んでいく。

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、地域活動やイベント情報について、広報誌の連載や SNS などを活用し、あらゆる機会を通じてタイムリーに発信することで、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、区民の意見やニーズの的確な把握に努めるなど、より効果的な区政運営に取り組んでいく。